

ウォーキング

ゴルフができない日に運動のため「この道」を歩きます。「この道」は通称 New Road と呼ばれており、正式には [JLN LIGKUDAU LAMA KITUNTUL](#) という長い名前が付いています。



水田とキナバル山

スラゴンホームステイを出て右方向へ行くと「この道」に入ります。

両側に水田が広がる長閑な景色を楽しむことができる舗装路です。何でも「この道」を造るのに 20 年を要したそうです。道路の左側にキナバル山の雄姿を望むことができます。



ココヤシと水田風景

ラナウでは米を 2 年間に 3 回収穫します。そんなに収穫できるのなら農家は豊かになるでしょう、と質問したら、そうではなく、米は神聖なものゆえラナウの人々は自分たちが消費する分だけ作り、決して売買しなかった、ということを知ったことがあります。神話の時代からの伝承によると人間の不徳に起因して生じた大飢饉から人々を、創造主

の一人娘

Huminodun が自らを犠牲にして救ったそうです。彼女は自らの肉を粳つきの米に、血は赤米に、心は米の精に変化させました。古来、この地では毎年 5 月に KAAMATAN (収穫祭) を行い、米の精に感謝する習慣が続いています。

道路の両側には所々に南国の果物の木があり、実がなっています。バナナ、タラップ、チャンパタ、ランブータン、パメロ、ココヤシ、ピナン、ココ、レママニスなどなどです。人が植えたのか、鳥などが媒介して育ったのか不明です。牛の行列に出くわすことがあります。道路の端に座っている牛の背に白鷺がとまっていたりします。

ときどき出会う車の運転手は必ずと言っていいほど手



バナナの花と実



を振るなど何か合図をします。道路脇の家に住んでいる人と目が合うと「おはよう」「こんにちは」「どこまで行くのか」などと声をかけられます。ラナウの中心地まで約1時間の距離です。30分も歩くとあっすらと汗をかきますが、ときどき吹く心地よい風が爽快な気分にしてくれます。暑いけど湿度が高くないせいか木陰に入るとスーッ汗が引く感じがし

ます。

午前11時前にスラゴンホームステイを出発して、「この道」を歩いて、ラナウの中心地で昼食を摂り、バスミニでスラゴンホームステイに帰る。「この道」のウォーキングはゴルフができない日の運動不足の解消になるだけでなく、素晴らしい光景を楽しむことや地元の人と触れ合うことにより、心を豊かにしてくれます。

参考資料 ; <http://www6.ocn.ne.jp/~khc/itinerary.htm>

[カダザンドスン族とヌヌクラガンの祭事について](#)

[カダザンドスン族に関わる豆知識](#)